

第3回疾患細胞生物学研究会

開催日時

平成31年1月25日(金) 17:00~18:30

開催場所

藤井節郎記念ホール

生体に必要な複数の オートファジー経路とその役割

清水 重臣 博士

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 病態細胞生物学分野 教授

[近年の主要論文]

Nature Commun (2016) 7,13508.

EMBO J (2016) 35, 1991-2007.

Nature Commun (2014) 5, Article number:4004.

Science (2011) 332, 966-970.

Nature (2009)461, 654-658.

本研究会では、細胞生物学的なアプローチに基づく疾患研究を推進している研究者を講師として招き、疾患発症メカニズムや治療法開発についての理解を深める機会を創出します。

第3回となる今回は、当該研究領域において素晴らしい業績を上げている清水博士にご講演をお願いしました。清水博士は、新学術領域研究「オルガネラ・ゾーン」の領域代表を務めていらっしゃいます。オルガネラ、特にオートファジーについて、分子機構・生物学的意義・疾患発症との関係などの観点から、最新の知見をお話させていただきます。

本研究会への皆様のご参加をお待ちしております。他部局の方のご参加も歓迎いたします。本セミナーは、大学院特別講義を兼ねています。大学院生の皆様も、ぜひご来聴ください。

主催

先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野 片桐 豊雅
先端酵素学研究所 炎症生物学分野 齊藤 達哉・印東 厚

お問い合わせ先

印東 厚 (内線2541) atsushiinto@tokushima-u.ac.jp